



校章の由来

知・徳・体の3分野をあらわす3角面を基盤とし、その上に百合の花が咲き出ている図柄をデザインし、逆三角形（扇形）はY、または、末広がりを意味し若さ・百合丘・前途発展を象徴している。百合の花は県の花であると同時に地名の百合丘を象徴し、幾百人もの学校関係者が力を合わせて学校の発展を期そうという念願を含んでいる。また校風である「清新さ」を百合の花の白であらわし、「潑刺さ」を花びらの間にのぞいてみえる球芽の赤であらわしている。

〒214-0036

神奈川県川崎市多摩区南生田4丁目2番1号

（代表）電話（044）977-8955 fax（044）976-8735

（1学年）電話（044）977-4712

（2学年）電話（044）977-4722

（3学年）電話（044）977-4732

神奈川県立百合丘高等学校校歌

木俣修 作詞
真鍋理一郎 作曲

Tempo di Marcia ♩=112~116

1. し ろ がねの ゆきのこるふじを かなたーに ゆり
 が おかのはる は あまね し ま ゆ わか き
 わ れーら つ ど いきてここ にまなぶ せ い じつ ひ
 と すじに き わめ て みら いに た か
 く はばた かん こ う ーほ は ま さーにと どーろ けー
 り あ ー われらが 高 校 ゆりが お か

一、白銀の雪のこる 富士をかなたに
 百合丘の春はあまねし 眉若きわれら
 集いきてここに学ぶ
 誠実、ひとすじに究めて
 未来に高く羽ばたかん
 行歩はまさにとどろけり
 ああわれらが高校百合丘

二、さみどりの木木映ゆる 多摩の横山
 百合丘は風のかおれり 意気弾むわれら
 呼びかわしここに勢う
 潑刺、たくましく鍛えて
 試練に勁く堪えゆかん
 歓喜はすであふれたり
 ああわれらが高校百合丘

三、校塔の空渡る 鳥も声なく
 百合丘の冬は鎮めり 胸聴きわれら
 かえりみてここに思う
 沈静、つつましく励みて
 使命を肩に負いゆかん
 栄光はやもかがやけり
 ああわれらが高校百合丘

JASRAC 出 2105936-101
<https://www.jasrac.or.jp/>

四季歌

井上 弘 作詞
五十嵐 務 作曲

のびのびと ♩=96



1. はるのいろ てんちをつつみ せいしんのき くおんににおう



ふるきふみに そのなをのこす たまのよこやま



あさきみどりの しとねのごとく あわくかさなる ゆりがおか



まなびのまどの われらが むねきょうもあかる し

二、夏の土 灼熱に燃え

生々(せいせい)の 意気高らかに
学(まな)びの姿 若(わか)き勢(いきほ)いの

大(お)おとりの 強く羽(は)ばたく

百合(れい)丘(かみ)学(まな)びの窓(まど)の われらが力(ちから)
今日(けふ)も新(あたら)し

三、秋(あき)の空(そら) 無(む)限(げん)に青(あお)く

正(ただ)大(だい)の気(き) 四(よ)囲(い)に沸(わ)きたつ
あたらなる匠(たくみ)のあとの

多(た)摩(ま)の殿(てん)堂(だう) 清(きよ)き白(しろ)堊(わ)の

清(きよ)雲(うん)のごと 高(たか)くそ(そ)びゆる
百(もも)合(が)丘(かみ)学(まな)びの窓(まど)の われらが息(いき)吹(ふ)き

四、冬(ふゆ)の日(ひ)の 琥(こ)珀(はく)に輝(かが)み

自(みづか)由(ゆ)の気(き) 胸(むね)奥(おく)にあ(あ)ふるる
静(しず)かなる 歴(れき)史(し)を(を)きざみ

多(た)摩(ま)の本(ほん)流(りゅう) 近(ちか)き瀬(せ)音(ね)の
銀(ぎん)鈴(ね)のごと 澄(すみ)みて流(なが)るる

百(もも)合(が)丘(かみ)学(まな)びの窓(まど)の われらが心(こころ)
今日(けふ)も麗(うる)し